

# 内視鏡用止血鉗子

主たる提供特許

出願者	国立大学法人長崎大学
題名	鉗子
番号	特願2019-065153

## 針ガイド構造を備え、縫合手術を容易にする止血鉗子

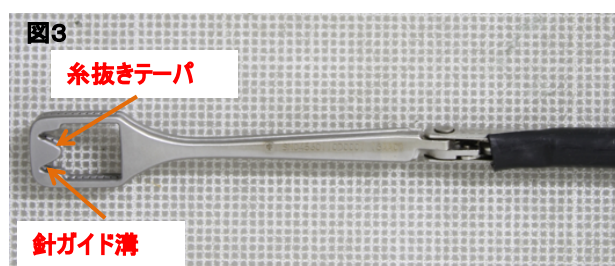
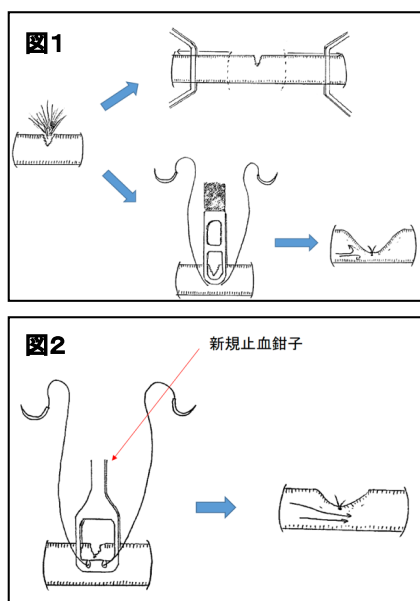
### 技術概要

#### 発明の背景

血管等の部分損傷の縫合手術では、止血鉗子よりも外側を縫合するため、術後の血管等の有効開口が狭くなるという問題があった(図1)。また、腹腔鏡や胸腔鏡の内視鏡下手術では、縫合針を所定の場所に正確に位置決めするには熟練を要するという課題があった。

#### 発明概要

縫合針の位置決めを容易にするとともに、術後の有効開口を大きくするために、止血鉗子の内側に針ガイド構造を設けた。(図2, 3, 4)



#### 特長

- ・10mm鉗子孔より挿入可能。内視鏡下であっても縫合針の正確な位置決めが容易。
- ・縫合部を拘束するため、2針目を通す前の縫合糸牽引動作による臓器損傷が無い。

### 応用分野

#### 適用例

- 腹腔鏡、胸腔鏡下における血管、消化管の部分損傷縫合手術  
臓器内容物(血管、便汁など)の流失を防止しながら手術し、術後開口を大きくすることが可能。
- 胸腔鏡下における気腫肺の部分損傷縫合手術  
該当臓器(胸膜など)がもろくなっても、手術に伴う損傷を抑止することができる。

### 利用者へのメッセージ

国内医療機器メーカーより販売予定。